

日本を技術立国にしたいと願い、世界を目指している若者に、 国や研究機関がなぜ関心を示さないのか、僕は不思議でならない

業績は設備や流通網、グループ企業
の関係性など、人以外の資産に価値
が付随していることよって生まれ
ているからだ。

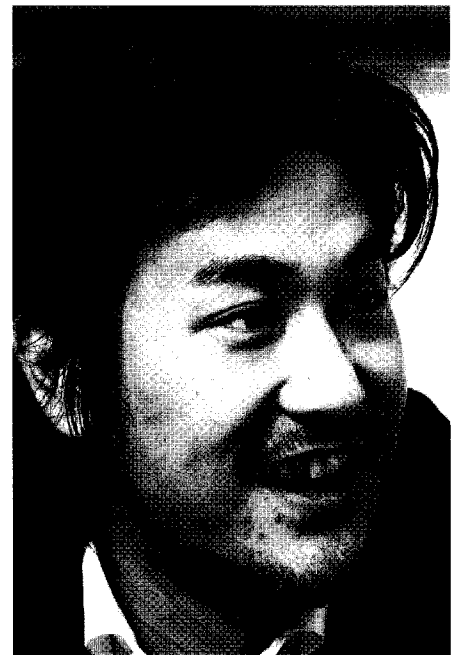
ところがグーグルは違う。グー
グルの上位10%の人が「データII」
を立ち上げたら、3年くらいで本家
のグーグルに勝ってしまうかもしれ
ない。それが情報化社会であって、
価値が人に付随しているというんだ。
従って、いくらM&Aを行なって
も情報化社会では意味がない。価値
を持った人材が辞めてしまえば、そ
の組織に価値は残らなくなるんだね。
逆にいえばM&Aによって業績が
伸びる企業は、本当の意味でのIT

企業ではないとも言える。この視点
は、とても面白いと思う。

**大学と一緒に研究をしたいから
東大の近くに居続ける**

チームラボの沿革を見ると会社設
立以来、度々オフィスが移転してい
る。最初の文京区西片に始まり春日
根津、湯島と変わり2004年には
現在の本郷と、ちょうど東京大学の
周辺を一周していることになる。こ
の引越には理由があった。

チームラボは日本で唯一、検索エ
ンジンを開発している企業で、デー
タもたくさん持っている。だから大
学の研究室が丸ごと来てくれたら、



「グーグルは便利ですが、僕ももっと本質を知れるもの、感情的なものを探せたり、主観的なものを技術にしたかった」と語る、猪子社長

さなののか不思議でならない。
金儲けが目的の起業も悪くはない。
でも僕は、日本発の技術で世界を狙
いたいという志を大いに買いたい。
その牽引車になるのは、どんな技術
やサービスなのか。今後のチームラ
ボの進化を、僕も楽しみに見守って
いきたいと思う。



「同じ東大出身でも、猪子社長はほかのIT企業の社長とは発想が違って面白い」と猪子氏の話に耳を傾ける田原氏

田原総一郎が行く！ 現場主義！

〈チームラボ株式会社〉

一緒になって研究したいんだと言
う。それで意地になって東大に張り
付いているのに、さっぱり気づいて
くれないと言ったんだね。

対照的なのがアメリカだ。米グー
グルの創業者で技術部門担当社長の
サーゲイ・ブリン。僕は2年前に会
ったんだが、彼は勉強したいからと
スタンフォード大学の大学院に通っ
ている。また大学も研究室ごとグー
グルに入って一緒に研究をしている。
こういう体制に日本はまだまだな
っていないと思う。せつかく世界を
目指し、電子立国の芽をもう一度日
本で芽吹かせようとしている若者に
対し、国や研究機関がなぜ関心を示



だからこそ勝ち目がないとまで言わ
れている検索エンジンの分野にも、
果敢に踏み込んでいったんだね。
有限会社としてチームラボを最初
に立ち上げたのは、大学を卒業した
2001年3月。なのに本人は、東
京大学大学院に進学している。理由
を聞くと、「モラトリアム」とか「現
実逃避」という言葉が返ってきた。
そして少し照れながら「本当はもう
少し早く始めればよかったんだけれ
ど、一緒にやろうという仲間になか
なか出会えなかった」と語っている。
ところが猪子社長とほかのベンチャ
ー社長との違いかもしれない。ライ
ブドアの堀江貴文・元社長やミクス
ィの笠原健治社長は、共に東大在学
中に会社を起している。両社とも
堅調に業績を伸ばすが、チームラボ
とは根本的に業態が異なる。

ライブドアはウェブ制作を足が
かりにし、やがてM&Aを繰り返して
成長してきた。ミクシィは会員制の
ウェブサイトを運営するSNS（ソ
ーシャル・ネットワーク・サー
ビス）の会社。どちらも新しいテク
ノロジーを作り上げ、世界に向けて
発信していくという立場ではない。
チームラボは、あくまで技術を世
界に問う研究開発型企業というスタ
ンスを崩していない。だから、ライ
ブドアの用いた企業の吸収合併に
は、なんの興味もないのだと言
う。

どうということか？ 猪子社長は、
トヨタ自動車とグーグルを引き合い
に出して、例え話をしてくれた。
仮にトヨタの上位10%の人材が独
立して「トヨタII」を作っても、成
功しないだろう。なぜならトヨタの

価値観が多様化している情報化社会 だからこそ、より“ディープ”で、 “コアなこと”を探せる サイトを作りたい

代表取締役社長
猪子寿之さん (29歳)

1977年、徳島県出身。2001年、東京大学工学
部応用物理計数工学科卒業。2004年、東京大学
大学院情報学環学際情報学府中退。2001年3
月、チームラボを創業、代表取締役社長に就任



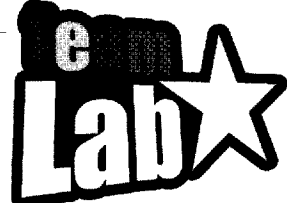
第3回目の現場

チームラボ株式会社

会社 DATA

設立 — 2000年12月
従業員数 — 100名
事業内容 —

Web2.0型のサイト構築の提供、レコメンデ
ーションエンジンやコンテンツマッチング、視
覚化検索エンジンなど、先端テクノロジーの
開発を行なう

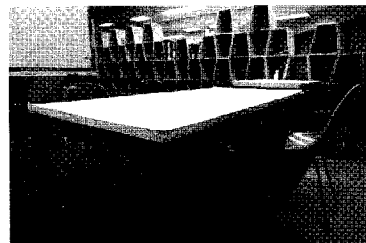


<http://www.team-lab.com/>

「情報化が進むと社会は超複雑化
するから、1人で何かを作るとい
うことが不可能になっていく。代わり
に何人かのスペシャリティを持った人
が集まり、フラットな関係でディス
カッションを重ね、何かをチームと
して作り上げていくことになる。だ
から「チームラボ」なんです」

と、社名の由来を語る猪子寿之社
長だが、「なによりみんなでもやっ
たほうが面白いじゃないですか？」と
ニヤリと笑う。

この精神が発揮されているのが、
同社が開発した検索エンジン「サグ
ール」。オモロアルゴリズムと名付
けた手法により、同じキーワードで



「ディスカッションはフラットな状態ですべき」という信念から天板部分が大きなメモ用紙になっ
ている机。めくれば新しいメモ用紙が出てくる

入力してもグーグルとは違ったサイ
トが検索される。

「たとえば「ドラえもん」と打ち込
むと、サグールでは『最終回シリ
ズ総合メニュー』と出てくる。ドラ
えもんの最終回、誰でも興味があ
りますよね。そういう主観的で感情的
なものを技術にしたかった。グー
グルの検索結果が公式発表なのに対
して、サグールは情報が面白い順に出
てくるわけです。表の世界からはな
かなか立ち入れない、より「ディ
ープな情報」を見つけ、ツウが納得す
る、より「コアなこと」を検索する
のがサグールなんです」(猪子社長)

グーグルに不満があるわけではな
いが、情報化社会によって価値観が
多様化するから、異なった価値基準
に見合う検索エンジンがあってもい
い。猪子社長はそう考えたわけだ。

さらに、マッピングセレクトウエ
アによる検索は、自分の知らない領
域にまで検索の手を伸ばしてくれる。
「実際に就職サイトに採用されてい
ます。ここでは、ベンチャー企業の
A社に入社したいが、募集が1人だ



ミーティング用のデスクにも遊び心が。スベ
リリストが集まって、チームごとに白熱
したディスカッションが行なわれている

けだったからと諦める必要がない。
身につけた専門知識を生かせる他の
ベンチャーをどんどん検索してマッ
ピングしていくことができる。可能
性が飛躍的に広がります」(猪子社長)

そこで気になるのは業績。じつは
同社は業績を公表していない。「100人
ほどの社員が食べられる程度」と猪
子社長は説明しているから立派な優
良企業と言える。

今後ウェブ2.0型のサイト構
築を提供しながら、先端テクノロジー
の開発に取り組みチームラボだが、
目標はあくまで「世界」。

「まだ欧米がチャレンジしていない
テクノロジーを作って、世界に向け
てチャレンジしていきたい。この気
持ちは創業以来、少しも揺らいでい
ません」(猪子社長)